

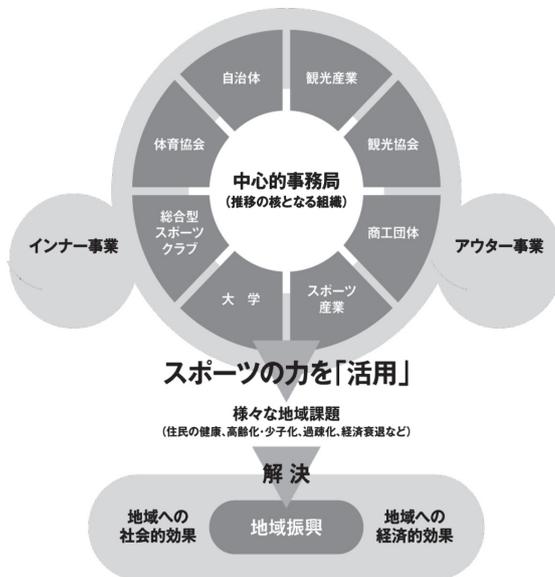
世界遺産十景観を活かしたマリンスポーツで賑わいを創出

スポーツと景観・環境・文化などの地域資源を掛け合わせ、戦略的に活用することでまちづくりや地域活性化につなげる取り組みが日本全国で進められている。各地でこの取り組みを推進しているのが「地域スポーツコミッション」である。

地域スポーツコミッションは、地方公共団体やスポーツ団体に加えて、観光協会、商工団体、大学、観光産業、スポーツ産業などの民間企業や団体が一体となって活動を行っているのが特徴で、常設の組織であることが要件となっている。

具体的には、スポーツイベントの誘致・開催、スポーツツーリズムの推進、プロチームや大学などのスポーツ合宿・キャンプの誘致により、観光客や参加者を増やすことで、地域経済を活性化させ、地域の認知度を高め、ブランディングとPRにつなげる。また、地域住民のスポーツ活動をサポートし、健康増進やコミュニティ形成を促進する役割も果たしている。

■図表 地域スポーツコミッション概念図



出所：スポーツ庁：地域スポーツコミッションポータル

スポーツ庁では2015年度から地域スポーツコミッションを支援する事業を実施しており、22年10月には全国に195団体にまで拡大。着実にスポーツによる地域振興の輪が広がっている様子がうかがえる。

本稿ではその中からまず三重県の「熊野マリンスポーツ推進委員会」の取り組み事例を紹介する。

1. 新鹿の魅力をもっと発信したい

三重県南部に位置する熊野市は、海、山、川の豊かな自然と世界遺産の熊野古道や、日本最古の祭祀遺跡の一つといわれる花の窟神社に代表される悠久の歴史と伝統文化が今も脈々と受け継がれているまちである。

その市内にある白い砂浜と遠浅の海が美しい新鹿（あたしか）海水浴場は環境省の「日本の快水浴場百選」にも選ばれ、県外からも毎夏多くの海水浴客でにぎわっていた。しかし、近年はレジャーの多様化に伴い、若者を中心に海離れが加速し、海水浴客も年々減少の一途をたどっている。

そこで、新鹿の海の魅力をもっと発信し、観光客に向けて海洋レジャーやスポーツの提供を通じて地域経済の発展が図れるのではないかと、また、地域の若者たちが自然環境に触れ合い、海の安全を理解する機会を提供することで、次世代の環境保護意識を高められるのではとの思いから11年に設立されたのが熊野マリンスポーツ推進委員会である。

委員会は、熊野市役所の職員や地元観光協会、宿泊施設関係者、マリンスポーツの有識者ら20数名によって、熊野市等と連携して新たな観光誘客とマリンスポーツで賑わう熊野市のまちづくりを目指す活動を行っている。

2. 年々盛り上がりを見せる マリンスポーツの大会を開催

委員会の具体的な取り組みについてみる。

まず12年に、当初は安全管理上の観点から開催に否定的だった地元の漁業関係者などの協力を得て、「熊野シーカヤックマラソン大会」が初開催された。しかし、参加者数が伸びなかったことから、15年からは初心者でも挑戦しやすい、パドルを使って立って水の上を進むことができるスタンドアップパドルボード（以下SUP）大会を加えた「ビーチ・マリンスポーツフェスティバル in ATASHIKA」を開催し、コロナ禍の2年間の中断を挟みつつ現在も継続中である。

毎年全国から200名を超える参加者を集め、海外からSUPの世界チャンピオンが参加するほど大会の知名度は上昇している。地元の飲食店や婦人会とも協力して選手たちに、めはり寿司やさんま寿司などの郷土料理を提供するだけでなく、SUP体験やビーチサッカー、ビーチテニスといった選手以外の人々も楽しめるレクリエーションを企画して会場を盛り上げ、地域に賑わいをもたらしている。

■ 「ビーチ・マリンスポーツフェスティバル in ATASHIKA」 SUP マラソンの様子



出所：ビーチマリンスポーツフェスティバル in ATASHIKA 2023 HP

3. 年間を通じた普及活動も実施

この年1回のイベント以外にも、温暖な気候を活かして季節を問わず、初心者向けのマリンスポーツ体験や中上級者向けのクルーズツアーを企画。

有資格のインストラクターを配置し、レンタル用具も用意して観光客でも気軽に参加できるようにしている。

また、地域にマリンスポーツを普及させるため、地元小中学生を対象とした体験会を開催し、身近な海で手軽に楽しめるマリンスポーツの魅力を地域に広め、地域での理解と愛好者のネットワークづくりを図っている。

こうした行政と民間事業者等が一体となった、地域の特色を活かした取り組みに対しては、県外からも多くの自治体が視察に訪れるなど注目を集めている。

熊野市では、ビーチ・マリンスポーツフェスティバル in ATASHIKA を熊野市の秋の恒例イベントとして定着させ、参加者を増やしていくことはもちろん、今後はマリンスポーツに限らず、熊野の自然を生かした他のアウトドアスポーツでも地域の活性化を進めていく考えである。実際、既に市内に点在する岩場を利用したボルダリングの競技会や自転車の日本三大ツールのひとつ「TOUR de 熊野」（熊野山岳ステージ）、熊野古道トレイルランニングレースなどが開かれ、市もサポートしている。

そして、こうしたスポーツへの参加、観戦に訪れた人たちに、熊野古道をはじめとする見どころもアピールすべく、ガイドツアーを開催するなど、熊野の魅力をより深く知ってもらい、リピーターの獲得や地域活性化につなげることを目指した取り組みを進めている。